

教育課程特例校における特別の教育課程の実施について

◆ 特別の教育課程の編成・実施

本校はすべての生徒に対して国際社会で活躍できる力の育成を目指し、国際水準の教育を実現することができる独自の教育課程を編成し実施しています。国際社会の中で共生・共存できる力を育成するためにも、多様な生徒全員にLEやイマージョン授業等で英語による教育を重視しています。

国際バカロレアのMYP・DPは、国際的な視野に立ち、幅広くバランスのとれた教育体験を提供するチャレンジに満ちたカリキュラムです。IBのカリキュラムでは、生徒が大学やその先の教育、そして将来選択する職業で必要とされる基本的なアカデミックスキルのほか、充実した目標ある人生を送るために必要な価値観や生活スキルを身につけることを目指しています。本校はその教育課程の在り方や教育実践等を地域の学校および教育委員会に向けて提供する役割を担っています。

◆ 特別の教育課程の概要

- ・ 1～3年の「総合的な学習の時間」のうち、一部を「Learning in English」「Immersion(3年)」とし、英語により授業を行っています。「Learning in English」では国際理解、環境、福祉などの教科横断的・総合的な様々なテーマを取り上げ、英語を用いて考察していく科目、「Immersion」は、社会、数学、理科、美術に関わる様々なテーマを取り上げ、英語を用いて考察していく科目です。いずれも「自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身につけ、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする」という学習指導要領上における「総合的な学習の時間」の目標に合致した内容となっています。
- ・ 4～6年(高等学校1～3年)の各教科のうち、次の科目において年間を通して英語で行うイマージョン授業を設けています。生徒はそのうちの一部または全てを選択することができます。
 - 4年(高等学校1年)「現代社会」、「数学A」、「科学と人間生活」
 - 5年(高等学校2年)「世界史A」、「数学B」、「生物イマージョン」
 - 6年(高等学校3年)「政治・経済」、「数学特講イマージョン」、「物理イマージョン」
- ・ 5年から6年の国際バカロレア・ディプロマ・プログラムにおける以下の科目について内容事項が適切に取り扱われた学習指導要領の科目と対応関係を確認し、履修を代替したものとします。
 - 「日本語A文学HL」→「現代文B」、「古典B」
 - 「ヒストリーHL」→「世界史A」
 - 「ビジュアル・アーツSL」→「美術Ⅱ」、「美術Ⅲ」
 - 「英語A言語と文学HL」→「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」

◆ 自己評価及び学校関係者評価

● カリキュラム委員会

Immersion 授業における年間計画の策定を行った。3 学期末の COVID-19 対応により、Immersion 授業に関するアンケートを実施することができなかった。今後 Immersion 授業・科目における成果・課題をより可視的に把握していくことが必要である。

● 国際教養委員会

各学年における国際教養の学習について、新学習指導要領における「総合的な学習/探究の時間」の目標が実現されるように、学年や教科との連携を図りながら立案・実施した。今年度の立案・実施だけでなく、これまでの実践の積み重ねを全て振り返り、整理することで、前期課程における「国際教養」カリキュラムの原案を作成した。また、社会貢献活動の顕彰を拡充することで SA 活動を促した。

● IB 委員会

DP に関して、生徒保護者への説明の充実化、選考内規改訂、評価に関わる対応等を通して業務を体系化できた。引き続き自己評価をまとめ、アクションプランを作成し DP 評価の準備を進める。内外で DP 志願者が増加している傾向をふまえた対応を検討する。

● 生徒保護者による学校評価アンケートより

- 「学校は世界に生きる学力と教養を身につけさせている」という質問に対して、「そう思う」「ややそう思う」と回答した生徒 81.7%、保護者 87.7%だった。
- 「学校は多様な表現やコミュニケーション能力を育てている」という質問に対して、「そう思う」「ややそう思う」と回答した生徒 91.2%、保護者 93.8%だった。
- 「学校は多様性の意義を認識し寛容性・耐性を育てている」という質問に対して、「そう思う」「ややそう思う」と回答した生徒 82.3%、保護者 87.1%だった。

● 学校関係者評価委員会

新型コロナウイルス感染症拡大防止の目的で学校関係者評価委員会はメール会議を実施した。「いずれもよい成果を上げている。「目標・計画」「実施の概要」「反省と評価」「改善課題」も明快であり、充実した教育活動が展開された。来年度に向けた対応も完璧である」との講評を得た。